

平成30年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市寺尾地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

1) 地形的な課題

鶴見区の中央部から北西部にわたって、坂道が多い地域であり、高齢者や障害者の外出が困難な地域があり、買い物に不便を感じている。

2) 横のつながりの課題

寺尾地区では、自治会町内会活動をはじめ、ボランティア団体や自助グループ、サークル（趣味活動）活動が活発に行われています。団体同士の連携を深め、情報を共有することで、地域住民への支援につなげていく必要があります。

3) 人材不足・社会参加の課題

ボランティアの高齢化に伴い、幅広い世代に繋げていく課題があります。地域人材を発掘し、活動（活躍）する場とその人材とを上手にコーディネートしていく必要があります。また、多世代が気軽に社会参加できる場を増やしていく必要があります。

4) 高齢化の課題

高齢化の着実な進行に伴い、介護予防への取組や認知症への理解と啓発がますます必要になってきます。高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるように、地域の見守りや、参加できる場などを増やしていく必要があります。

5) 障害児・者の課題

障害についての理解は、まだまだ十分とは言えません。地域に対する障害理解への啓発活動を継続し、障害児・者及びその家族への支援が必要です。

6) 子育て世代の課題

核家族化と近隣との関係の希薄化により、子育てにおいて、相談できず悩みを抱えることが多くなっています。少しでも楽しく子育てが出来るように、子育て中の親同士が交流を持つ機会や情報を交換できる機会が必要です。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1) 自治会、老人クラブ、地区民児協の集まりに出向き、地域包括支援センターが相談の窓口であることを周知し、事業の広報をする際にも、地域包括支援センターについて説明を行いました。気になるケースの情報も得ることができ、関係機関や民生委員とも協力し迅速に対応しました。

2) 総合相談について毎月区との連絡会で共有しました。成年後見や認知症初期集中支援チームへ繋がられたケースや精神疾患を併発しているケースについて連携し対応を協議しました。広報紙にて協力医によるてらお健康相談会を周知し地域の方からの相談に対応しました。

3) 連合の集まりや地域のサロン等に参加し地域の最新情報を集め、生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターとも連携し、インフォーマルサービスの情報を適宜更新し最新の情報提供が出来るようにしました。

(2) 各事業の連携

- 1) 毎月1～2回所長を含めて5職種で会議を行いました。地域情報を把握することと、地区支援記録の作成などを意識して行い情報を共有しました。認知症カフェや介護予防事業、出前講座も各職種で連携・分担して行い、地域支援を進めました。
- 2) 寺尾商和会と連携して地域情報を広報紙にて定期的に周知しました。協力医は認知症サポーター養成講座での講師、歯科医師（運営協議会委員）はブログ及び広報紙への記事掲載、薬剤師（運営協議会委員）はケアマネジャー連絡会での連携の取り方及びめがね橋祭での薬剤師相談会でそれぞれ連携協力を行いました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 1) 法人との連携により、常勤職員においては法人による公募及び非常勤職員の転用試験の機会を設け適正な職員配置を行いました。平成30年12月末に地域活動交流コーディネーターが退職し、その後任は未定です。
- 2) 資格の必要な職員に関しては、年1回の資格確認を行い、更新の必要な職員には必要な研修及び手続きを行いました。
- 3) 新人育成においては、育成リーダーの職員を配置し、適宜、助言指導を管理職と共に行ってきました。また、法人においても新人研修及び振り返り研修を行い、職員定着に取り組みました。研修に参加した職員は研修報告を供覧し、必要においては職員会議等を通じて伝達研修をおこない、非常勤においては各部門会議の中で伝達してきました。
- 4) 法人内でMBOに取り組んでおり、常勤職員は年3回の管理職との面接と業務の目標設定及び進捗状況の確認を行いました。非常勤においては年1回面接を実施（1月下旬～2月中旬予定）
- 5) ハートページや事業所からのリーフレットを活用し、事業所ごとの特徴を丁寧に説明し、自己決定できるように取り組みました。
- 6) 事故発生防止においては、法人内の事故等の発生や予防対策の共有も図り、職員会議・各種部門会議等で共有しました。ヒヤリハットは、気軽に申告できるような仕組みに変更したところ、上半期の報告数が昨年度の年間件数を大きく上回り、職員の気付きを大きく広げることができました。（H29：40件、H30上半期73件）。事例は朝礼、夕礼等において、共有し自分事として意識できるように取り組みました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 1) 福まちは毎月の作業部会では地域の誰もが随時参加でき、自由に構えることなく意見を言うことができる雰囲気作りに努め、地域課題の把握と福を呼び込む地域福祉の実現に向け一つ一つ進んでいくことができるよう常に心がけ推進役を務めました。今後は代表者会メンバーである町内会等との連携で新たな事業を年度で1つ生み出していこうという方向性が確認されました。
- 2) 寺尾地区連合の毎月定例会に参加し、それぞれの町内会の特徴や状況を把握しました。又、必要時に情報提供をすることにより地域とのネットワークを強化しました。
- 3) 地区連合定例会時に各単位町内会の会長に対し個別に話をするなど、アプローチをしました。会長だけでなく、役員の方とのつながりも持てるよう、町会のクリーンキャンペーン、防犯パトロール、敬老会、運動会等積極的に参加し本音のコミュニケーションが取れるよう工夫しました。
- 4) 安心ホルダーについては、昨年夏より全町内会での実施となりました。11月には安心ホルダーの推進会議を実施し、各町内会の独自運用ルールの確認を行うなど課題を共有しました。

(5) 区行政との協働

- 1) 毎月のあいねっと地域支援担当者会議に参画し、区役所、区社協、地区センターと連携して地域が主体であいねっとを推進していくことの意識を各町内会長に持っていただくよう共に働きかけて、地域の方にとって意義のある地区懇談会に結びつけました。
- 2) 毎月1回定期的に地域情報やケースについて情報共有を行いました。これまでに関わったケースについての現在の支援状況についても確認しました。
- 3) 災害ボランティアネットワークの会員として他機関と協力し地域住民の防災意識向上の訓練に参加しました。また1月には災害ボランティアシミュレーション訓練にも参加し、関係機関との連携を強化しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 1) 前年度に続き地域のニーズに合った自主事業を継続しました。また共催団体の要望や意見を取り入れ、より参加しやすく魅力ある事業を団体と協力して実施しました。
- 2) 自主事業「さんかく広場」は前年度にアンケートをとり、より魅力のある内容を考え、幅広く地域の子どもと保護者の方に来ていただけるよう工夫をしました。
- 3) 共催事業「配食サービス」の団体とは常に連携し、情報共有をしながら広報紙やオリジナルチラシを作成し、必要な方へお弁当が届くよう周知を行いました。
- 4) 共催事業「てらおなごみ亭」は担い手が高齢化し、今後も連携や支援が必要な状況です。
- 5) 寺尾地区福祉のまちづくり推進協議会は事務局として全面的に関わり、地域の方を主体に様々な意見を出し合ってもらい、地域活動が活発になるよう後押しをしました。
- 6) ボランティア講座等は実施できませんでしたが、ボランティアコーディネートには力を入れました。ボランティア交流会はケアプラザ全体で取組み、カード交換会では、積極的に様々な方との交流をとる様子がみられました。
- 7) 年1回のめがね橋まつりは寺尾地区センターと共催し、子供も大人も楽しめ、より多くの方に来ていただけるよう企画しました。具体的には前年度以前の評判の良かったものはそのまま継続し、さらに相乗効果が表れるような新しい試みも行った

(健康測定コーナーに薬剤師の協力を得てお薬相談コーナーを設置)。昨年度より多くの方に来ていただくことができました。

- 8) 障がい関係の事業について、地域の方から相談があり一緒にすすめている事業は来年度も力を入れていきたいです。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1) 会場利用者懇談会を開催し、登録団体同士の繋がりや、他の活動を知ることによりさらにケアプラザを利用していただけよう努めました。
- 2) 夜間帯の利用はなかなか増えにくい状況はあるが、「福カレー」等の事業が定例化し、利用率は上がりました。
- 3) 会場貸出管理台帳はケアプラザ全体で共有し、問い合わせに対し対応できるようにしています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 1) 安心してボランティア活動が出来るよう、自主事業では事業終了後、振り返り会を行い意見、感想を求め、安心につながる対応を心がけました。
- 2) 要支援認定のある方がサービスを利用せず、月に1度包丁研ぎボランティアやまた別の方は子育てやケアプラザでのサロンのボランティアとして継続的に活動しています。このようにどなたでも活動できるボランティアの育成を継続しています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1) 自治会の会議等へ積極的に参加し、地域が必要としている情報を広報紙へ掲載しました。
- 2) インフォーマルサービスについて、自治会の協力を得て更新しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 1) 別所の買い物を考える会では、町内会のエリアを越えて近隣の町内会にも取り組みの周知を行いました。坂の下のエリアという地理的に共通したエリアであり、ニーズに即した取り組みとなりました。ニーズの内容、地域の方の思いに添ったよりきめ細かい視点を持って支援をしました。
- 2) アプローチが進んでいない地域に絞り、要支援者が何のサービスを利用しているのかをマップに落とし、アセスメントを実施しました。
- 3) 区役所とは包括連絡会に参加する中で情報共有を行いました。区社協とは協議体の進め方や各町内会へのアプローチ段階から連携を持ち一体となって進めることができました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1) 北寺尾東部自治会エリアに対しマップを使ったアセスメントと昨年度よりヒヤリングをし、アプローチを続ける中で協議体実施につなげることができました。協議体の中でも地域の状況や必要な取組が話し合われ、継続的なアセスメントにつながっています。
- 2) 把握した情報の活用方法として、ケアマネジャー向けの地域資源の情報シートを作成し、ケアマネジャーに向け情報発信をしました。
- 3) 50～60代向けの定年後の人生について考える講座を4回実施し、受講者24名に対し地域活動への意識に関するアンケートを実施しました。自己啓発や老後のことに関する関心が高いことも分かり、今後の事業の方向性を検討する機会となりました。

(3) 連携・協議の場

- 1) 民生委員と友愛活動員が情報共有をする場として北寺尾東部自治会エリアで「民友会」が始まりました。友愛活動員が日ごろ気になる方をどのように民生委員につないでいくかを検討しています。また、老人クラブの紹介チラシを作成し、民生委員も協力して周知を行い、加入増にもつながりました。
- 2) 別所の買い物を考える会では、昨年度実施したアンケート結果をもとに、買い物に困っているエリアでの出張販売の実現に至りました。よりよい取り組みになるよう改善策を話し合い、より地域に必要となるような仕組みづくりを協議体のメンバーが積極的に考えています。
- 3) 高齢者福祉施設の地域貢献の支援について5職種が連携して施設を支援し、縫い物や編み物を通して気軽に集える場が始まっています。取り組みが進む中でも施設と連携し、課題を共有しています。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 1) 自治会町内会単位での取り組みが活発な地区ですが、地区民児協において地域での見守りに対する研修を行いました。地区外の他町会の取り組みを区社協や他機関から情報を得て地域でのゆるやかな見守りに対するきっかけづくりを行いました。
- 2) 局主催の初任者向けの本事業の説明会において、出張販売の取組事例の発表を行い、市域で情報発信をしました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 1) 民生委員とケアマネジャーの連絡会について開催し、エリアの利用者の担当をしているケアマネジャーに参加要請をし、「地域での見守り」について共有を図りました。
- 2) つばさねっとについては区の主任ケアマネジャー連絡会として定例会への参加や研修について後方支援を行いました。あいねっとについては、小学校での昔あそびの交流支援、広報誌「ひびきあい」発行や地域への配布。「ひびきあい」の特に認知症カフェや買い物支援の記事は生活に密着した情報については相談の高齢者やケアマネジャーへも配布し、必要な方へ情報が届けることができました。これまであいねっとの1つのグループであった「てらおお手伝い部隊」のインフォーマル活動への移行支援を実施しました。
- 3) 月に1回定例にて、生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーター

と定期的に会議で地域情報等を共有しました。適宜、インフォーマルサービスやボランティアによる支援に繋げることが出来、介護保険のみならず様々な方法で支援することが出来ました。日計表で相談票の分析を行えるように入力の仕方を変更しました。

- 4) 「安心ホルダー」については、地域ケア会議を通じて各町内会の取組について情報共有や意見交換ができる良い機会となり、ケアプラザの役割の整理ができました。

②実態把握

- 1) 地区民児協や寺尾地区連合については5職種の中で必ず1名は参加しました。
- 2) 配食サービスの2団体とは、緊急連絡先の更新や新規利用者の相談、現利用者の情報共有を必要に応じ、口頭や連絡ノートを活用し行いました。
- 3) 昨年度の講座のアンケート結果を活用し、今年度は新たな場所での講座開催や若い世代が高齢者とともに参加できる「冷え症予防教室」の開催を実施しました。
- 4) 昨年度の相談分析結果で重度化した相談が多かった獅子ヶ谷地域について、5職種で相談内容をマップに落とし、課題の抽出を行いました。
地域包括支援センターの周知のため、獅子ヶ谷の地域の事業所の協力を得て出張型相談会を福祉用具展示とともに開催しました。

③総合相談支援

- 1) 広報紙めがね橋新聞やブログを通じて地域包括支援センターや講座について周知を行いました。民生委員の方の協力を得て、地域包括支援センターの職員の氏名が入ったチラシや講座等を地域の高齢者へ配布して頂きました。
- 2) 相談者への継続的な支援のため、定期的な安否確認（お元気コール）を行い状況把握に努めました。また適宜、気になるケースについての追加等見直しや訪問指導による支援を依頼しました。介護保険サービス等では解決できない生活困窮者の支援について、区社協やフードバンクの協力を得て支援しました。またいわゆる「ごみ屋敷」の片付け支援を行いました。
- 3) 民生児童委員、自治会、ボランティア団体からの地域情報をもとに、ケアプラザで把握しきれていないケースを発掘共有し、相談、訪問につなげ、早期介入を目指し、重度化を防ぎました。（例えば、子育て相談からつながった児童委員さんの義父の認知症相談など）
- 4) 相談台帳をデータ化した事で、過去の相談歴の確認がスムーズに出来るようになりました。包括内での速やかかつ確実な情報共有のため、相談票の回覧を継続し、毎月部門会議を開催し、ケースについて共有するとともに支援方法の検討を継続しています。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1) 鶴見区では消費者被害が多発しています。被害が拡大しないよう、老人会の会合や民児協の定例会等に参加し、地区の被害状況や防止策について普及啓発を行いました。実際に消費者被害の寸前に、消費生活相談センターケアプラザ専用ダイヤルを活用したクーリングオフ制度を活用したケースが1件ありました（昨年度までは相談なし）。
- 2) 成年後見制度の申し立てについては、高次脳機能障害のケースへの支援について区役所担当CWと連絡を取り合いながら支援を行っています。昨年度に比べ、成年後見制度の相談が増加傾向にあり、実際に申立に繋がったケースがありました（前年度1件、今年度5件）。また、ブログ通して成年後見制度について情報提供を行いました。区社協あんしんセンターと同行訪問を1件し、実調同席をしました。

②高齢者虐待への対応

- 1) ネットワークミーティングを1回開催しました。そのケースについては現在までケアマネジャーの定期訪問に同行し、状況把握を行っています。また経済的な搾取があった方について区社協の協力も得て、定期的に食支援を行いました。区役所をはじめサービス事業所や居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し、臨時カンファレンス、同行訪問など、迅速な対応をし、情報共有や状況確認を行いました。
- 2) 認知症サポーター養成講座へ介護者の方1名が参加されました。本年2月にも認知症サポーター養成講座の開催予定があるので、介護者へ広く周知をし、実施していきます。介護者の相談の場として、「介護者のつどい」がありますが、現役介護者が上手く相談につながるよう運営の相談を行っています。毎月開催されている「介護者のつどい」や認知症カフェを通して、介護に対する悩みを抱えている方を支える場づくりを行いました。不定期開催である有料老人ホームもみの樹との共催で開催している認知症カフェ「もみの樹カフェ」については自主的な活動となるよう、引き続き支援をしていきます。おりづる会による「介護者のつどい交流会」に参加し、情報交換を行いました。
- 3) 認知症カフェやインフォーマルサービス（体操）に介護者が参加し、「この場があるから介護が続けられる」「リフレッシュできる」との言葉を頂戴しています。

③認知症

- 1) 認知症サポーター養成講座をケアプラザで年2回開催し、その都度キャラバンメイト連絡会を行い、内容や周知について、意見交換を行いました。3回目は2月に予定しています。講座の台本はキャラバンメイト連絡会で考え、講座後に必ずアンケートを基に振り返りを行いました。協力医であるクリニック寺尾の原医師にも、講座で早期受診についてお話頂きました。今年度は、当事者の声を参加者と共有することを心掛けました。
7月にケアプラザで小学生向けの講座を開催し、又、エリア内の有料老人ホームと交流がある小学校から依頼があり、12月に出張認知症サポーター養成講座を行いました。若い世代に向けた内容を考え実行したことで、キャラバンメイトのスキルアップに繋がりました。今年度はこれまでに成人18名、小学生40名の参加がありました。また今後山エリアで共催にて認知症サポーター養成講座が開催できればと考えています。
- 2) エリア内の有料老人ホームと共催で認知症カフェを開始し、不定期になっていますが、継続出来ています。自主的な活動となるよう引き続き支援しています。
- 3) 介護者に認知症カフェやインフォーマルサービスの体操教室等を紹介し、継続的に参加されています。認知症初期支援チームへ3件の新規相談をし、昨年度からの相談ケースのうち1件は終結できました。またスムーズな介護保険サービス導入にも結び付いています。
- 4) 「頭の体操教室・だるま会」の講師から支援が必要な方について情報があり、エリア外の場合は担当包括に繋ぐ等対応しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネージャージメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1) 民児協へは生活支援コーディネーターと包括が参加していることで、民生委員から個別相談が増加し、それに伴い、同行訪問も昨年に比べ増加しています。今年度は相談が28件、同行訪問が4件ありました。
- 2) 老人会や自治会等が主催しているイベントへ参加し、地域の保健福祉活動の後押しをしました。またケアプラザを会場として行っている団体へ自主化に向けた話し合いを代表と個別に持ち、来年度は響用会、介護者の集いは自主化することとなりました。

3) 保健活動推進委員の定例会へ保健師、生活支援コーディネーターが毎月参加しています。その際に地域包括の役割や地域での事業や担い手について情報共有を図れています。

②医療・介護の連携推進支援

- 1) 協力医とケアマネジャーとの関係つくりのため、FAXで相談できる仕組み作りを行いました。今後仕組みが活用される様予防プランの委託事業所へ情報提供を行います。
- 2) ケアプラザの運営委員でもある薬剤師の協力を得て、ケアマネジャーと薬剤師の連携ができる様、薬剤師が出来る事を明確に説明し、医師に相談しにくい事を薬剤師に相談出来る事等連携の在り方について確認ができました。

③ケアマネジャー支援

- 1) 10月に開催したケアマネジャー連絡会や来所されたケアマネジャーに生活支援コーディネーターの役割や地域活動・サービスリストについて情報提供を実施。また要支援認定の担当者会議時にケアマネジャー本人にインフォーマルサービスを情報提供し、サービスの導入ができました。
- 2) 認知症初期支援チームを活用された方について未受診である事のリスクについての地域ケア会議を2回開催し、検診の仕組み、ケアプラザでの相談内容の実際、認知症初期支援チームの実際を知り、今ある仕組みを共有。また受診をするきっかけを確認する中から、なぜ「受診」ができないかについても共有しました。
- 3) 10月のケアマネジャー連絡会では薬剤師(運営協議会委員)を講師に迎え、服薬管理や服薬が難しい方についての対応方法について、薬剤師が医師と連携して検討できることなどとても参考になるとの意見が参加ケアマネジャーからありました。3月は寺尾地区民生委員との情報交換会を開催し、ケアマネジャーと民生委員との相互理解促進、連携の機会、情報共有の場として有意義な内容となりました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1) 9月に東寺尾・馬場地域ケアプラザ共催にて防災についての包括レベルの地域ケア会議を開催し、情報共有を図りました。
- 2) 家族の支援が難しい方をテーマに個別レベルのケース会議を予定しましたが、ケースの状態悪化等もあり、計画通りには開催できませんでした。来年度はタイムリーに地域ケア会議が開催できる様、定例の会議を活かしたいと思います

(5) 介護予防ケアマネージメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネージメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- 1) 自立支援を目指し、目標志向型介護予防ケアマネージメントがすすむように、サービス担当者会議に参加しました。本人にとって、どんな生活をしていくのかを日常生活レベルで考えアドバイスを行いました。
- 2) 包括カンファレンスを通じて、地域の事業者にも、介護保険以外のインフォーマルサービスを積極的に活用していただくため、生活支援コーディネーターの役割、寺尾エリアの地域活動・サービスリストの情報整理を行い、発信しました。
- 3) 予防サービスだけでなく、地域情報を広報紙やサービスリスト(利用者向け)を活用して案内しています。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 1) 元気づくりステーションや既存の地域の活動グループに定期的に訪問し、地域資源の情報を更新しました。サロンや地域の活動を情報共有シートで共有し支援者がどのような関わりをするか、統一した支援を行いました。
- 2) 地域の介護保険事業所を拠点として継続的に介護予防事業を開催しています。事業には地域の民生委員の参加もあり、住民とのつながりが深まるよう支援しました。
- 3) 地域資源の少ないエリアで事業を開催し、新たな拠点(東寺尾図書館)での活動を推進しました。昨年度からの獅子ヶ谷地域での「獅子ヶ谷らくらく倶楽部」(ミモザ獅子ヶ谷)を月に1度定例にて開催しました。
- 4) スキルアップを目的とした講座参加者が、自治会主催の体操教室の指導員として活動開始につながりました。
- 5) 昨年アンケート結果でニーズの高かったウォーキングについて、馬場地域ケアプラザ・寺尾センターと共催した介護予防事業を2回実施しました。ウォーキングポイント参加者に周知し参加を促しました。

その他

- 1) 随時、寺尾地区センターおよび老人福祉センター鶴寿荘と事業協力や話合いの機会を持ち、連携した事業展開を行いました。
- 2) 区社協と連携しながら、個別の課題から把握された地域ニーズを整理し、身近な地域での見守りのしくみづくりを進めました。
- 3) あいねっとの各グループ活動に包括職員も参加し、地域の保健福祉活動を後押ししました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

開所して22年が経過し、経年劣化による施設設備等の修繕等が多くなりますが、下記のとおり、適正な維持管理に努めました。

- 1) 指定管理者として公平・公正に管理運営を行いました。
- 2) ご利用者が安心して安全に施設利用が出来るように、設備の維持管理を行いました。保守点検業者の選定には、入札等適正な方法にて質の担保と経費節減を行いました。
- 3) 点検等により、修繕の報告が上がった時は、適正に迅速に対応しました。
- 4) 閉館時には館内点検を目視で行い、異常等を発見した場合は適正に対応しました。
- 5) エレベーターが故障し、大規模な修繕となるため区役所等と十分相談しながら次年度に修繕を実施予定です。

イ 効率的な運営への取組について

常にエコ活動に努め、無駄をなくしエネルギー等の節減に努めました。指定管理者として地域ケアプラザを運営する役割を認識し、限られた予算内で適正に運営できるように費用全般について、予算の適正執行に留意し効率的な経営を行いました。

ウ 苦情受付体制について

- 1) 市社協苦情解決規則に則り、苦情はその内容・大小如何に関らず、「利用者の声・願い」と真摯に捉えて、サービスの質の向上につなげました。
- 2) 一次対応として、苦情受付担当者→実務責任者(所長)、二次対応を法人本部である横浜市社会福祉協議会(以下[市社協])所管部長、三次対応を市社協苦情解決推進チーム→苦情総括責任者という流れで苦情解決にあたりました。
- 3) 常勤職員は、市社協で実施する苦情解決研修へ参加を義務付けています。
- 4) 市社協苦情解決調整委員会(第三者委員)のメンバーである福祉・法律・人権の専門家からの助言も適宜いただきながら、適切な対応とサービスの改善に努めました。
- 5) 市社協に寄せられた苦情・ご意見について、その対応策について検討し改善策を協議しました。

エ 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

施設内、市社協内並びに関係行政との緊急時連絡体制を確立し、公共施設としての災害時の対応や防災・防犯の予防に取り組みました。

- 1) 緊急時連絡体制のため携帯電話(PHS)を常時、管理職が携帯しています。
- 2) 年2回、防災・消火・避難訓練を実施しました。
- 3) 地区連合町内会、地区民生委員児童委員協議会(以下、地区民児協)、地区社会福祉協議会の定例会や総会および地域行事に参加して、地域団体との交流を積極的に図り「顔の見える関係づくり」「協力体制」を構築しました。
- 4) 利用者懇談会等を活用して会場利用時の緊急時の対応について周知しました。
- 5) 災害時の福祉避難所としての役割を認識し、防災備蓄物資を適正に管理しました。
- 6) 法人内で事業継続計画(BCP)を作成し、不測の事態に備えています。

オ 事故防止への取組について

法人全体で事故・ヒヤリハットを集計・分析して市社協内の幹部会で報告し共有を図りました。その結果を受けて、施設内で、事故分析・再発防止に向けた対応策を職員一人ひとりが考え・提案し、職場内で共有して事故防止に役立てています。

- 1) 事故や感染症の発生、職員の労災、火災発生等がゼロであることを目指して施設全体で「リスクマネジメント」への取組みを進めました。
- 2) 各種マニュアルを整備して、職員全体会議などを活用したマニュアルの確認・点検作業を実施しました。
- 3) 日々のヒヤリハットも含めたリスクの分析と防止策を毎月の定例会議等で検討し体制の見直しを適宜行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

市社協の「保有する個人情報の保護に関する規程」に則り、適切に取り扱いました。また、「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に示された具体的な取り扱い方法に準拠して適切に取り扱いました。個人情報が含まれる文書等は施錠管理を徹底しています。

- 1) 個人情報が含まれる文書等は必要時以外の外部持ち出し、机上放置をしないよう取組みました。
- 2) 訪問等の個人情報の外部持ち出しに際しては、訪問先から職場への直帰厳禁、自転車の荷物かごには盗難防止カバーをかぶせる、自転車・自動車のシートへの置き忘れをしないなど基本的な注意を怠らないよう細心の配慮を心がけました。
- 3) 守秘義務について、全職員が市社協職員就業規程を遵守しています。
- 4) 定期的に職員研修を実施して、職員一人ひとりの意識向上を図りました。
- 5) 個人情報を送付・FAX送信する場合は、ダブルチェックを徹底しています。

キ 情報公開への取組について

市社協の「保有する情報の公開に関する規程」に準拠して取組みました。

- 1) 保有する文書（電子媒体を含む）を対象としました。ただし、文書に個人情報や法令等の規制で公開できない情報など開示できないものを明確にしています。
- 2) 公開に際しては、個人の不利益にならないこと・責任者の判断を得ること等を徹底しました。
- 3) 窓口に閲覧用の予算・決算書、個人情報取扱業務概要説明書等、情報公開資料を随時設置しました。また、見やすく分かりやすい施設概要やサービス内容についての広報資料を設置して常に最新の情報が提供されるよう更新しました。

ク 人権啓発への取組について

職員に対しては、年1回全体職員会議の中で、人権に対する研修を実施し職員一人一人が、人権に対して意識し考えられるようにしました。各部門会議やOJT等を通じて人権に配慮した業務の進め方を行うように、日常的な意識づけを行いました。

また、地域に対しても人権に対する講座や、様々な事業の中で、意識啓発に取り組みました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢に基づき、利用者のゴミ持ち帰りや事業系ゴミは分別を徹底して、ゴミの少量化・減量化・再資源化を図りました。

また、水光熱費の削減のため、未使用の部屋の消灯や節水に努め、クールビズ・ウォームビズに取り組めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤保健師兼務）
社会福祉士	2名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）

《目標に対する成果》

総合事業を含めた目標志向型プランの実践と、支援方法などの情報共有を目的とした、定期的なカンファレンスを開催し、利用者の介護予防を目指し支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①対象者本人が、自立した生活に対し積極的に取り組むことができる、介護予防ケアマネジャージメントの作成を行いました。
- ②サービス事業所との連携を図り、より効果的なサービス提供がなされるよう努めました。
- ③ケアマネジャーやご利用者、ご家族に介護予防・日常生活総合事業の他インフォーマルサービスを積極的に利用できるよう情報提供しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	145	154	148	151	146
10月	11月	12月	1月	2月	3月
152	150	143	147	151	156

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 5名（常勤兼務1名・非常勤4名）

《目標に対する成果》

利用者の個別性を尊重し、個々にニーズに添ったケアマネジャージメントに努めました。また、ケアプラザの居宅介護支援事業所という特質を生かし、地域包括支援センター等、関係機関との連携や地域性・地域力の活用等も視野に入れ、総合的かつ効果的な居宅サービス計画書作成を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

担当者が、サービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、各介護支援専門員が個別性の大切さを理解し、生活支援コーディネーターとも連携し、インフォーマルサービスを取り入れ、地域に求められる事業所を目指しました。

《利用者実績：介護と予防の合計》

※ 単位は省略してください。【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
146	156	140	142	140	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
131	144	149	144	146	139

● 通所介護

《提供するサービス内容》

通所介護計画に沿って、次のサービスを提供しました。

- ・生活指導(相談援助等)、個別機能訓練(日常動作訓練)、介護サービス、健康状態の確認、送迎、給食、入浴

《実費負担：1回あたり。端数処理するため目安額です》

・1割負担分

(要介護1) 599円、(要介護2) 708円、(要介護3) 816円
(要介護4) 926円、(要介護5) 1,034円

・2割負担分

(要介護1) 1,197円、(要介護2) 1,415円、(要介護3) 1,632円
(要介護4) 1,851円、(要介護5) 2,067円

・3割負担分

(要介護1) 1,795円、(要介護2) 2,123円、(要介護3) 2,448円
(要介護4) 2,776円、(要介護5) 3,101円

・加算費用(1回あたり)

- ①入浴加算 54円(1割負担分)、108円(2割負担分)、161円(3割負担分)
- ②中重度77体制加算 49円(1割負担分)、97円(2割負担分)、145円(3割負担分)
- ③体制強化加算 I イ 20円(1割負担分)、39円(2割負担分)、58円(3割負担分)
- ④介護職員処遇改善加算：所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

・食事負担 750円

・通常のレクリエーション以外に行う特別な行事 実費負担

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》

業務日	毎日 ※年末年始(12月29日から1月3日まで)は休業
業務時間	午前9時から午後5時まで
サービス提供時間	午前10時15分から午後3時20分まで

《職員体制》

管理者	1名(常勤兼務)
生活相談員	4名(常勤兼務)
看護師	6名(非常勤兼務)
介護職員	15名(常勤兼務4名・非常勤11名)
機能訓練指導員	6名(非常勤兼務)

《目標に対する成果》

ご利用者の能力に応じた自立支援が営まれるよう援助しました。また、ご利用者、ご家族の信頼関係を大切にニーズに即したサービスを提供しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

ご利用者の心身の維持・向上の為出来る事を大切に、出来ない事を支える介護を行いその方らしく生き生きとした生活が送れるようにご利用者支援、ご家族支援を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
690	733	701	731	734	705
10月	11月	12月	1月	2月	3月
751	709	643	655	645	645

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

通所介護計画に沿って、次のサービスを提供しました。

- ・生活指導(相談援助等)、個別機能訓練(日常動作訓練)、介護サービス、健康状態の確認、送迎、給食、入浴

《実費負担：月額。端数処理するため目安額です》

・1割負担分

(要支援1・2、週1回) 1,766円、(要支援2、週2回) 3,621円

・2割負担分

(要支援1・2、週1回) 3,531円、(要支援2、週2回) 7,241円

・3割負担分

(要支援1・2、週1回) 5,297円、(要支援2、週2回) 10,861円

・加算費用：月額

①生活機能向上グループ活動 108円(1割負担分)、215円(2割負担分)、322円(3割負担分)

②運動機能向上 242円(1割負担分)、483円(2割負担分)、724円(3割負担分)

③体制強化加算Iイ (週1回) 78円(1割負担分)、155円(2割負担分)、232円(3割負担分)

(週2回) 155円(1割負担分)、309円(2割負担分)、463円(3割負担分)

④介護職員処遇改善加算：所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

・食事負担 750円

・通常のレクリエーション以外に行う特別な行事 実費負担

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》

業務日	毎日 ※年末年始(12月29日から1月3日まで)は休業
業務時間	午前9時から午後5時まで
サービス提供時間	午前10時15分から午後3時20分まで

《職員体制》

管理者	1名(常勤兼務)
生活相談員	4名(常勤兼務)
看護師	6名(非常勤兼務)
介護職員	15名(常勤兼務4名・非常勤11名)
機能訓練指導員	6名(非常勤兼務)

《目標に対する成果》

ご利用者の能力に応じた自立支援が営まれるよう援助しました。また、ご利用者、ご家族の信頼関係を大切にニーズに即したサービスを提供しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

ご利用者の心身の維持・向上の為に出来る事を大切に出来ない事を支える介護を行いその方らしく生き生きとした生活が送れるようにご利用者支援、ご家族支援を行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
14	14	13	12	10	11
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	11	11	10	9	11

平成30年度「横浜市寺尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,631,871		16,631,871	16,631,871	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	108,754	108,754	
印刷代	0		0	65,232	65,232	印刷機等使用料
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	43,522	43,522	参加費収入、めがね橋祭り寄附金等
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,782,500		2,782,500	2,782,500	0	施設使用料相当額
その他(提案時控除 法人負担分)	1,516,000		1,516,000	1,516,000	0	利用料金収支の活用
収入合計	20,930,371	0	20,930,371	21,039,125	108,754	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000		11,313,000	9,425,245	1,887,755	
本俸	8,500,000		8,500,000	7,787,934	712,066	
社会保険料	1,300,000		1,300,000	861,499	438,501	
手当計	1,427,000		1,427,000	686,129	740,871	請手当、通勤手当
健康診断費	8,000		8,000	27,335	19,335	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	ハマふゆいど
退職給付引当金繰入額	72,000		72,000	56,348	15,652	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,358,000		1,358,000	1,817,970	459,970	
旅費	30,000		30,000	5,514	24,486	市内出張旅費
消耗品費	650,000		650,000	231,894	418,106	
会議随いつい	13,000		13,000	0	13,000	
印刷製本費	5,000		5,000	5,104	104	
通信費	300,000		300,000	180,405	119,595	電話料、郵券
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	75,600	24,400	パソコン
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	16,969	23,031	
職員等研修費	10,000		10,000	2,440	7,560	研修旅費
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	150,000		150,000	70,100	79,900	自動流水器、玄関マット、AED、印刷機リース料
手数料	5,000		5,000	4,704	296	
地域協力費	0		0	57,000	57,000	地域行事等への祝い金等
その他	55,000		55,000	1,168,240	1,113,240	車両費、租税公課、求人広告掲載費、本部経費等
事業費	306,000		306,000	193,860	82,400	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,260	29,740	予算-指定額
指定管理料充当 事業	264,000		264,000	181,600	82,400	うまたのキッズクッキング、めがね橋祭り、ボランティア交流会等
管理費	7,048,331		7,048,331	5,848,247	1,322,940	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	2,998,331		2,998,331	3,121,187	122,856	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,200,000		1,200,000	1,156,473	43,527	
修繕費	474,000		474,000	96,796	377,204	予算-指定額
機械等備費	130,000		130,000	123,558	6,442	
設備保全費	1,070,000		1,070,000	985,421	84,579	
空調衛生設備保守	440,000		440,000	437,180	2,820	
消防設備保守	50,000		50,000	63,280	13,280	
電気設備保守	40,000		40,000	50,455	10,455	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000	19,112	20,888	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	500,000		500,000	415,394	84,606	総合監視点検、自動ドア点検、エレベーター点検他
共益費	0		0	0	0	
その他	1,176,000		1,176,000	364,812	811,188	植栽剪定、ゴミルート回収、古紙収入、機密文書廃棄、コピー機保守
公租公課	905,040	0	905,040	743,698	161,342	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	905,040		905,040	743,698	161,342	消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	20,930,371	0	20,930,371	18,029,020	2,994,467	
差引	0	0	0	3,010,105	3,103,221	

自主事業費収入	264,000		264,000	54,600	209,400	自主事業費参加費収入
自主事業費支出	264,000		264,000	54,600	209,400	自主事業費に充当
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市寺尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,108,000		29,108,000	29,108,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	72,043	72,043	実習謝礼等
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	33,974	
印刷代	0		0	33,974	33,974	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,035,000		2,035,000	2,035,000	0	利用料金収支の活用
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	37,155,043	106,017	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	35,004,566	2,315,566	
本俸	15,847,000		15,847,000	21,454,191	5,607,191	
社会保険料	5,409,000		5,409,000	4,266,442	1,142,558	
手当計	10,660,000		10,660,000	5,013,293	5,646,707	
健康診断費	17,000		17,000	30,284	13,284	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	30,000	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	726,000		726,000	4,210,356	3,484,356	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	917,317	385,683	
旅費	20,000		20,000	18,508	1,492	市内出張旅費
消耗品費	208,000		208,000	154,395	53,605	
会議贈い費	30,000		30,000	0	30,000	
印刷製本費	5,000		5,000	0	5,000	
通信費	250,000		250,000	238,707	11,293	電話料、郵券
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	151,200	48,800	パソコン
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	4,511	15,489	
職員等研修費	22,000		22,000	13,172	8,828	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	90,000		90,000	20,085	69,915	自動流水器、玄関マット、AED、印刷機リース料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	458,000		458,000	316,739	141,261	車両費、租税公課、本部経費等
事業費	1,190,000	0	1,190,000	758,487	431,513	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	100,000		100,000	21,369	78,631	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	154,790	3,790	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	78,328	230,672	予算:指定額
管理費	1,901,000	0	1,901,000	1,614,880	286,120	
建築物・建築設備点検	34,000		34,000	0	34,000	予算:指定額
光熱水費	830,000	0	830,000	829,663	337	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	308,000		308,000	307,416	584	
修繕費	126,000		126,000	25,727	100,273	予算:指定額
機械整備費	33,000		33,000	32,844	156	
設備保全費	279,000	0	279,000	261,945	17,055	
空調衛生設備保守	117,000		117,000	116,212	788	
消防設備保守	12,000		12,000	16,821	4,821	
電気設備保守	10,000		10,000	13,412	3,412	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	5,080	4,920	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	130,000		130,000	110,420	19,580	総合巡視点検、自動ドア点検、エレベーター点検他
共益費	0		0	0	0	
その他	291,000		291,000	157,285	133,715	植栽剪定、ゴミルート回収、古紙収入、機密文書廃棄、コピー機保守
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	38,295,250	1,212,250	
差引	0	0	0	1,140,207	1,106,233	

自主事業費収入	0			40,700		包括9,200、生活支援31,500
自主事業費支出	0			40,700		
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市寺尾地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,671	3,647	1,024	20,909	20,974	-65	68,362	77,056	-8,694	6,080		6,080
	その他	4,671	5,121	-450	1,420	903	517	7,136	7,003	133	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	4,671	5,121	-450	0	0	0	0	0	0	0		0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	33	-33	7,096	6,900	196	0		0
	受託事業収入	0	0	0	1,385	870	515	0	0	0	0		0
	寄附金収入	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0		0
	参加費収入	0	0	0	0	0	0	30	26	4	0		0
	その他	0	0	0	35	0	35	0	77	-77	0		0
	収入合計(A)	9,342	8,768	574	22,329	21,877	452	75,498	84,059	-8,561	6,080	0	6,080
支出	人件費	3,387	1,836	1,551	21,408	15,678	5,730	52,723	48,611	4,112			0
	事務費	108	1	107	113	64	49	420	483	-63			0
	事業費	160	22	138	724	711	13	10,908	10,717	191			0
	管理費	0	0	0	0	0	0	12,400	11,342	1,058			0
	その他	5,573	5,523	50	375	0	375	3,872	8,559	-4,687	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	介護予防プラン委託料	5,573	5,523	50	0	0	0	0	0	0	0		0
	その他	0		0	375		375	3,872	8,559	-4,687	0		0
支出合計(B)	9,228	7,382	1,846	22,620	16,453	6,167	80,323	79,712	611	0	0	0	
収支 (A) - (B)	114	1,386	-1,272	-291	5,424	-5,715	-4,825	4,347	-9,172	6,080	0	6,080	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ミニデイサービス めがねばし会 (共催: ひびきの会)	①高齢者	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③700円/回		介護					
			生活					
チャオ!めがねばし会 (共催: ひびきの会)	①高齢者	経費は共催 団体が管理	地活					
	②申込不要		包括					
	③100円/回		介護					
			生活					
配食サービス キッチンさくらんぼ	①高齢者等	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③450円/食		介護					
			生活					
配食サービス 配食ほほえみ	①高齢者等	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③500円/食		介護					
			生活					
てらおなごみ亭 (共催: 寺尾地区 老人クラブ連合会)	①高齢者	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③100円/回		介護					
			生活					
歌声サロン(上期・下期) (共催: 歌声サロンを支 える会サルビア)	①地域住民	経費は共催 団体が管理	地活					
	②50名		包括					
	③1000円/半期		介護					
			生活					
だるま会	①高齢者	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③1100円/月		介護					
			生活					
体操教室 ひまわり (共催: ひまわり)	①高齢者	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③500円/回		介護					
			生活					
てらっちポッチャーズ (共催: てらっちポッ チャーズ)	①地域住民	2,240	地活					
	②代表と相談		包括	2,240				2,240
	③無料		介護					
			生活					
てらっちポッチャーズ杯	①地域住民	1,400	地活					
	②50名		包括	1,400				1,400
	③無料		介護					
			生活					
イス体操 (共催: イス体操)	①地域住民	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③1000円/月		介護					
			生活					
てらお響用会 (共催: てらお響用会)	①地域住民(男性)	経費は共催 団体が管理	地活					
	②代表と相談		包括					
	③無料		介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
獅子ヶ谷らくらく倶楽部 (共催:ミモザ横浜 獅子ヶ谷)	①地域住民	17,729	地活	8,529	9,200		13,249	4,480	
	②16名		包括						
	③100円/回		介護						
			生活						
認知症カフェ 「もみの樹カフェ」 (共催:もみの樹 横浜鶴見)	①地域住民	0	地活						
	②申込不要		包括						
	③無料		介護						
			生活						
認知症サポーター 養成講座	①地域住民	0	地活						
	②30名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
小学生向け認知症サ ポーター養成講座「にん ちしょうをまなぼう」	①小学校低学年と保護者	0	地活						
	②30名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
旭小学校認知症サポー ター養成講座	①旭小学校4年1組	0	地活						
	②無し		包括						
	③無料		介護						
			生活						
学齢障害児余暇支援活 動サマフレ2018寺尾コー ス(共催:鶴見区社協、 馬場地域ケアプラザ、駒 岡地域ケアプラザ)	①障がい児	28,080	地活	0		28,080	7,795	9,905	10,380
	②8名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
障害者余暇支援 よるカラクラブ	①障害者	24,278	地活	2,378	21,900				24,278
	②申込不要		包括						
	③原則無料、夏祭り@700 ホラ@100、クリスマス@1500		介護						
			生活						
発達が気になる子の親 の集い	①未就園児の保護者	0	地活						
	②申込不要		包括						
	③無料		介護						
			生活						
親子サロンさんかく広場	①未就園児と保護者	864	地活	864				864	
	②申込不要		包括						
	③無料		介護						
			生活						
笑顔いきいき Moms and Kids (共催:笑顔いきいき Moms and Kids)	①未就園児と保護者、付添	0	地活						
	②申込不要		包括						
	③無料		介護						
			生活						
子育てサロンよつばのク ローバー(共催:よつば のクローバー運営委員 会)	①未就園児と保護者、付添	0	地活						
	②30名程度		包括						
	③無料		介護						
			生活						
うまたの キッズクッキング	①小学生	97,542	地活	64,842	32,700		66,000	31,542	
	②10名		包括						
	③300円/回		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
めがね橋まつり (共催:寺尾センター)	①地域住民	55,520	地活	12,020		43,500		10,320	45,200
	②無し		包括						
	③無料		介護						
			生活						
ボランティア交流会	①ボランティア	15,256	地活	15,256				13,256	2,000
	②41名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
てらお「福まち」協議会作業部会	①地域住民	0	地活						
	②無し		包括						
	③無料		介護						
			生活						
てらお「福まち」協議会代表者会	①地域住民	0	地活						
	②無し		包括						
	③無料		介護						
			生活						
秘密基地作り (共催:てらお「福まち」協議会)	①小中学生と保護者	経費は共催 団体が管理	地活						
	②20組		包括						
	③100円/人		介護						
			生活						
どくだみ茶体験講座 (共催:てらお「福まち」協議会)	①地域住民	経費は共催 団体が管理	地活						
	②10組		包括						
	③200円/組		介護						
			生活						
夜のてくてくおさんぽ (共催:てらお「福まち」協議会、つるみままっぷ)	①地域住民	経費は共催 団体が管理	地活						
	②15組		包括						
	③100円/組		介護						
			生活						
夏休み体験教室 (共催:てらお「福まち」協議会)	①年少以上	経費は共催 団体が管理	地活						
	②30名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
落ち葉のプールで 遊ぼう (共催:てらお「福まち」協議会)	①乳幼児、小学生と保護者	経費は共催 団体が管理	地活						
	②20組		包括						
	③200円/組		介護						
			生活						
昔あそびまつり (共催:てらお「福まち」協議会)	①地域住民	経費は共催 団体が管理	地活						
	②申込不要		包括						
	③無料(たこ作り50円)		介護						
			生活						
体操ステップアップ講座	①地域住民	50,040	地活						
	②15名		包括						
	③無料		介護	50,040		45,000		5,040	
			生活						
ケアマネ連絡会「民生委員とケアマネジャーの交流会」	①民生委員、ケアマネ	0	地活						
	②33名		包括						
	③無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
冷え症予防講座	①地域住民	0	地活					
	②30名		包括					
	③無料		介護					
			生活					
GOGO！健康講座 (寺尾)フットケア	①高齢者	17,120	地活					
	②15名		包括					
	③無料		介護	17,120		16,000		1,120
			生活					
GOGO！健康講座 (東寺尾図書館)	①地域住民	43,830	地活					
	②20名		包括					
	③無料		介護	43,830		36,000		7,830
			生活					
GOGO！健康講座 (ウォーキング)	①高齢者	6,120	地活					
	②40名		包括					
	③無料		介護	6,120		5,000		1,120
			生活					
GOGO！健康講座 (東台)	①地域住民	25,120	地活					
	②20名		包括					
	③無料		介護	25,120		24,000		1,120
			生活					
GOGO！健康講座 (獅子ヶ谷)	①高齢者	12,560	地活					
	②20名		包括					
	③無料		介護	12,560		12,000		560
			生活					
人生100年時代に突入！ 人生を楽しむための準備講座	①地域住民	25,583	地活					
	②20名		包括					
	③無料(4回目のみ500円)		介護					
			生活	24,083	1,500	20,000	5,583	
クリスマス ハーバリウム作り	①地域住民	37,068	地活					
	②20名		包括					
	③1500円		介護					
			生活	7,068	30,000	5,568	31,500	
赤門祭り	①地域住民	2,400	地活	2,400				
	②無し		包括					
	③無料		介護					
			生活					2,400

事業ごとに別紙に記載してください。

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイサービス めがねばし会	ボランティア運営により見守りが必要な高齢者の介護予防と仲間作りの機会の提供を目的とした会食とレクリエーション等を行いました。 (共催 ひびきの会)	第2・4金曜 30回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チャオ! めがねばし会	高齢者が気軽に外出できる機会となるよう、ボランティアグループ「ひびきの会」と共催で高齢者サロンを実施しました。 また、包括職員等が関わることにより必要に応じて制度やサービスにつなげられるようにしました。 (共催：ひびきの会)	第3金曜 7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービス キッチン さくらんぼ	ボランティア運営により調理や買い物が困難な高齢者世帯を対象に食事の提供と見守り活動を行いました。 (共催 キッチンさくらんぼ)	毎週火曜日 49回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービス 配食ほほえみ	ボランティア運営により調理や買い物が困難な高齢者世帯を対象に食事の提供と見守り活動を行いました。 (共催 配食ほほえみ)	第2・4土曜 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらおなごみ亭	高齢者が気軽に外出できる機会となるよう、寺尾地区老人クラブ連合会と共催で高齢者サロンを実施しました。 また、包括職員等が関わることにより必要に応じて制度やサービスにつなげられるようにしました。 (共催：寺尾地区老人クラブ)	毎月第4月曜 12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声サロン (上期・下期)	地域の方を対象として、介護予防や関係作り、交流を目的として、アコーディオンの生演奏による歌声サロンを行いました。 (共催：歌声サロンを支える会「サルビア」)	上期/4回 下期/4回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
だるま会	認知症予防に興味のある方を広く受け入れ、認知症予防となるレクリエーション等を行いました。 (共催：だるま会)	毎月 第2・4水曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室 ひまわり	介護予防及び健康維持への取り組みにつながる介護予防体操を行いました。 (共催：ひまわり)	毎月2回木曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらっち ボッチャーズ	介護予防の普及啓発、健康維持及び居場所づくりのため、ボッチャを定期的に行いました。 (共催：てらっちボッチャーズ)	毎月 第2・4火曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらっち ボッチャーズ杯	介護予防、健康維持を目的として、寺尾CPで活動する「てらっちボッチャーズ」と寺尾地区自治会に呼びかけ、ボッチャ大会を開催しました。	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イス体操	体力維持向上を目的に、椅子に座りながら気軽に実践できる体操を行いました。 (共催：やさしいイス体操)	毎月 第1・3水曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらお響用会	男性を対象とした介護予防と健康づくりを目的に、井戸端会議や懇親会を行いました。 (共催：てらお響用会)	毎月第2金曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おたのしみ会	寺尾地区社協からの依頼で、ひびき町会と東寺尾北部町内会の一人暮らしの食事会にて、「認知症を予防するために日頃の生活を見直そう」をテーマに講座を開催しました。	11月・年1回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東寺尾おきな会 総会懇談会	東寺尾北部の老人会より依頼あり、口腔体操、嚥下マッサージ、脳トレを行いました。	5月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
獅子ヶ谷らくらく倶楽部	エリア内のデイサービスと共催し、獅子ヶ谷周辺地域の方が気軽に参加できて、介護予防や介護などについて興味をもってもらえる機会と定期的な居場所づくりとハマトレの周知、また気軽に相談が出来ることを目的として開催しました。（共催：ミモザ横浜獅子ヶ谷）	毎月第4日曜日 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ 「もみの樹カ フェ」	エリア内の有料老人ホーム「もみの樹・横浜鶴見」と協力し、地域単位で認知症カフェを開催することを目的として行いました。脳トレやヨガ、認知症当事者の思いを共有する時間を持つことが出来ました。	5月・7月・10月 年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポ ーター養成講座	認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族の応援者である「認知症サポーター」を増やすことを目的とし、寺尾地区キャラバンメイト寺尾つなぐ会と協力し、寸劇などを交えて分かりやすく伝えることを心掛けました。	10・2月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生向け認知 症サポーター養 成講座「にんち しょうをまなぼ う」	小学校1～3年生とその保護者に認知症についての正しい知識と適切な対応について考えてもらうことで、「認知症になっても住みやすい地域」をつくることと新たな担い手の発掘につなげることを目的として開催しました。	7月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭小学校認知症 サポーター養成 講座	旭小学校の先生から介護付き有料老人ホーム「もみの樹・横浜鶴見」を経由して依頼があった。当該施設で交流をしている生徒に認知症の正しく理解してもらうことと寺尾地区キャラバンメイト「寺尾つなぐ会」の活動機会の増とスキルアップのため開催しました。	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障害児余暇 支援活動 サマフレ2018寺 尾コース	学齢障害児の夏期休暇中の余暇活動を目的として、ボランティアと協力しながら調理やレクリエーションを行いました。（共催：鶴見区社協・馬場地域ケアプラザ・駒岡地域ケアプラザ）	7月・年1回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
学齢障害児余暇支援活動 サマフレ2018駒岡コース	学齢障害児の夏期休暇中の余暇活動を目的として、ボランティアと協力しながら調理やレクリエーションを行いました。 (共催：鶴見区社協・馬場地域ケアプラザ・駒岡地域ケアプラザ)	8月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援活動よるカラクラブ	障害者の余暇活動として寺尾センター大広間を会場にカラオケ等を行いました。 季節に応じて7月は夏祭り、12月はクリスマス会を開催し、食事やゲームをして普段とは違う交流を行いました。	第2金曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
発達が気になる子の親の集い	子育てに心配ごと、不安を抱えている方、障がいのあるお子さんをお持ちの方（手帳の有無は問いません）へ、地域で支え合う場を作るため開催しました。	12月・1月 2月・3月 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子サロン さんかく広場	子育て支援を目的として、子育て中の親子を対象に季節に合わせた工作や絵本の読み聞かせ、ミニコンサートの実施、地域活動ホーム幹のパンの販売等を行いました。	第1月曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑顔いきいき Moms and Kids	子育て支援を目的として、ボランティアやママによる読み聞かせ、リトミック、工作等を行いました。 (共催：笑顔いきいきMoms and Kids)	第3金曜 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン よつばのクローバー	子育て支援を目的として、獅子ヶ谷自治会館, 活動ホーム幹にてママによる親子向けプログラム（歌・工作・話し合い等）を行う出入り自由なサロンを開催しました。 (共催：よつばのクローバー運営委員会)	第4金曜 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うまたのキッズ クッキング	寺尾地区在住の小学生を対象に、料理を通じて交流や季節、行事の食事を知ってもらうなど学びの場として実施しました。	毎月第3水曜 11回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
めがね橋まつり	地域住民同士の交流の場の提供、福祉保健活動の情報発信の場、地域愛の醸成を目的として、関係団体やボランティアグループと協力して、お祭りを開催しました。 (共催：寺尾センター)	10月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	日頃、当ケアプラザに関わって下いるボランティア、地域の方々に感謝の気持ちを表す場、同時にボランティア、地域の方々の交流の場として開催しました。	2月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらお「福まち」協議会作業部会	寺尾・寺尾第二地区を対象として福祉のまちづくりを進めている「てらお福まち協議会」の活動支援を行いました。	第1火曜 14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらお「福まち」協議会代表者会	寺尾・寺尾第二地区を対象として福祉のまちづくりを進めている「てらお福まち協議会」の活動支援の一つとして代表者会を開催しました。	5月、11月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秘密基地作り	地域の自然を活かし、地域住民同士のつながりを深めるために、秘密基地作りを実施しました。 (共催：てらお「福まち」協議会)	4月・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どくだみ茶体験講座	地域に自生する植物を活かして、地域住民とのつながりを深めるために、どくだみを摘み、どくだみ茶を作りました。 (共催：てらお「福まち」協議会)	6月・7月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夜のてくてくおさんぽ	地域を知り、地域に愛着を持ってもらうために夜の獅子ヶ谷市民の森を歩きました。 (共催：てらお「福まち」協議会、つるみまっぷ)	6月・年1回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み体験教室	夏休み中の子どもに、地域のボランティアの方へのこぎりや金づちの使い方を教えてもらいながら廃材や身の回りの品を使って自由に物をつくる楽しさを味わってもらいました。(共催：てらお「福まち」協議会)	8月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
落ち葉のプールで遊ぼう	乳幼児や小学生を対象に外で遊ぶ楽しさと、自然の大切さを学ぶため、落ち葉でプールを作り遊びました。また、愛護会の協力を得て、落ち葉で焼き芋を焼き、焼き芋を囲みながら親子の交流を図りました。(共催：てらお「福まち」協議会)	12月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昔あそびまつり	世代間交流や昔遊びの伝承、福まち事業の周知を目的として、ベーゴマや折り紙、カルタなどを子どもたちに教える昔遊びまつりを行いました。(共催：てらお「福まち」協議会)	1月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操ステップアップ講座	保健活動推進委員や民生委員児童委員を中心に、地域で体操を広めて頂ける方を育成することを目的に、介護予防体操の指導者育成講座を行いました。	毎月1回日曜(4・6・10月を除く) (全9回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会「民生委員とケアマネジャーの交流会」	寺尾地区の民生委員・ケアマネジャーが民生委員、友愛活動推進員、保健課都度推進員の活動内容や情報共有方式について知り、地域の見守りについて情報共有し、相互の交流を深め情報交換が出来るように開催しました。	3月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冷え症予防講座	地域で体操教室を開催している講師からの提案で、免疫力の低下を防ぎ、病気にかかりにくくする体を作ることを目的として、地域住民が「身近な場」で健康づくりに取り組めるよう開催しました。	10月・11月・12月 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO!健康講座(寺尾CP)フットケア	地域の方がケアプラザという身近な場所で介護予防を意識し、具体的な取り組みが出来るよう、フットケアや足の爪切りテーマに開催しました。	7月・9月 年2回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO!健康講座 (東寺尾図書館)	地域の高齢者が自ら認知症予防や介護予防活動に参加し、知識の習得や自ら認知症予防や介護予防に取り組むためのきっかけづくりを目的として、脳と身体の機能を効果的に向上させることが期待されるコグニサイズとハマトレ普及講座を開催しました。	9月・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO!健康づくり講座(ウォーキング)	介護予防の普及啓発として、日々の生活の中で意識的に正しい姿勢を作り、歩くことを楽しみの一つになるようにウォーキング教室を行いました。 (共催：馬場地域ケアプラザ・寺尾地区センター)	9月・1月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO!健康講座 (東台)	東台の方が、身近な場所で介護予防の取組が出来るよう、自治会館で開催しました。	1月・年2回

横浜市寺尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO!健康講座 (獅子ヶ谷)	獅子ヶ谷の方が、身近な地域で介護予防を意識し、具体的な取組が出来るよう、自治会館を借りて開催しました。	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人生100時代に突入！人生を楽しむための準備講座	働いているときから地域での活動に目を向けられるようなきっかけづくり、老後の生活を考えるきっかけづくり、50～60代のニーズ把握を目的として開催しました。	7月・9月・ 10月・11月 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスハーバリウム作り	若い世代にも参加したいと思ってもらえるような講座を開催し参加してもらうことで、地域での活動に目を向けられるようなきっかけづくりを目指す目的としてを実施しました。	12月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤門祭り	地域住民同士の交流の場の提供、地域愛の醸成を目的として、関係団体やボランティアグループと協力して、お祭りを開催しました。（共催：寺尾奉行）	11月・年1回